

10月11日

ながはら 長原ちさとさん

世界最優秀フロマジェコンクールで第3位



6月号の「旬の人」で紹介した長原さん。チーズのプロフェッショナルとして日本最優秀フロマジェ選手権大会で日本

一に輝き、駒を進めた世界最優秀フロマジェコンクールの舞台上で「第3位」という快挙を果たし、町長に笑顔で報告してくれました。

世界大会は、7か国から9人の代表選手がチーズの本場フランスに集結し、チーズに関する知識・技術・スピーチなどの課題で世界最高峰を競いました。

長原さんは、「フロマジェという資格を生かして、今後は芽室町の魅力発信に貢献していきたい」と熱く語ってくれました。



6月号旬の人はこちら(8ページ)

10月10、11日

めむろちょうない 芽室町内

めむろ地産地消バスツアー



農業に触れ、地産地消の意識を高めてもらうことを目的として町が主催している地産地消バスツアーですが、今年度は観光物産協会が企画し、半日行程で行われました。今回は落花生栽培の藤井農場、ワイン用のブドウ栽培の菊地農場(ファームミリオン)、ワイン醸造のめむろワイナリーを訪問。両日ともに定員を大きく上回る問い合わせがあり、大反響でした。

当日は心配されていた天気も何とか持ちこたえ、参加者の皆さまにとってよい思い出となったようです。

10月18日

しらかばがくえんこうとうがっこう 白樺学園高等学校

3年生の総合学習

「これからの町の発展にはどのようなことが必要か？」



白樺学園では、「これからの町の発展にはどのようなことが必要か？」をテーマに総合学習を実施して

おり、この日は、事前学習として町職員を講師に学習会が開催されました。「地域活性化とはなにか?」「地方自治とは?」などのテーマを、クイズ形式を交えながら、町の現状・課題・ありたい姿を解説し、地域のこれからの事を自分ごととして捉え、自分たちや仲間と一緒に何ができるか考えてみてほしいと呼びかけました。今後は、各クラスに分かれたグループワークが展開される予定で、高校生×議会×役場の三者の立場でまちづくりを真剣に考える時間となる予定です。

10月15日

ちょうない ちゅうがくせい 町内の中学生

中学生の意見発表会



10月15日(火)、上美生中学校を会場にして、芽室町学校教育振興会主催の「令和3年度芽室町中学生の意見発表会」が開催されました。

自分の身近な生活体験や社会の問題など、日常生活の中でとらえた問題をテーマにして、町内各中学校の代表者9名が集まり意見を発表しました。発表後には、芽室ライオンズクラブ(白樺操会長)から記念の盾が贈られました。

撮影時のみマスクを外していただきました。

# まちのうごき

10月22日

榮前田すゞえさん

## 100歳おめでとうございます



10月21日に100歳を迎えられた榮前田すゞえさん(弥生中央町)に、芽室町から感謝状と敬老祝金が贈呈されました。

榮前田さんは農家の一人娘として生まれてから現在にいたるまでの100年間、芽室町で生活されております。

55歳の頃に始めた踊りを趣味としており、柏樹学園に入園してからは20年皆勤賞を貰うなど努力をおしまず継続し、現在も2月に開催される柏樹学園の学園祭に向けて、月3回の練習をしているとのことでした。

榮前田さん、これからもどうぞ元氣にお過ごしください。

10月19日

芽室西中学校

## 学校周辺ゴミ拾い



芽室西中学校(全校生徒数：160名)による学校周辺のごみ拾い活動が行われました。

開校30周年記念事業として、地域の良さや環境保全の大切さなどを学ぶ機会とすることを目的に実施されたもので、生徒たちは町内5か所に分かれて作業を行いました。1時間程度の作業で、付近の沢や道路から17袋(1袋は45リットル)のごみが回収されました。

11月1日

ふれあい交流館跡地

## ふれあい交流館跡地の公共駐車場が完成



ふれあい交流館の跡地で工事をしていた公共駐車場が完成し、利用を開始しました。

カーポートとなっている駐車スペースは公用車専用となっておりますが、北側、西側の駐車場はどなたでもご利用いただけます。

また、西側のスペースは、芝生の養生中ですが、新たにみじが植えられ、来年にはのんびり過ごしていただけるスペースに生まれ変わる予定です。

なお、役場庁舎周辺の外構工事は11月下旬完成、その後、利用開始の予定です。ご不便をおかけしますが、いましてばらくお待ちください。

10月28日

ダイチめむろ店前

## 納期限内に納税を 納税街頭啓発



町、帯広地区納税貯蓄組合連合会、帯広税務署3者による納税街頭啓発が行われ、お買い物に来た方に「納期限内納税にご協

力ください」と声かけをしながらエコバッグと資源ごみ袋のセットを配布しました。皆さまの税金は、公共施設や福祉をはじめとする公共サービスの提供、そして、よりよいまちづくりにとってなくてはならないものです。これからもご協力お願いいたします。

住民税務課納税係では、毎月、夜間の納税相談窓口を開設しています。



# 世界に羽ばたくフルート奏者に



芽室中学校3年生  
豊田翼さん

## フルートの音色に衝撃

豊田さんがフルートを始めたのは小学5年生。オーケストラの演奏の中でフルートの音色を聴いたとき、こんなに美しい音色があるのかと感動したのがきっかけだそうです。

## 音楽に囲まれて育つ

両親がともに音楽関係の仕事をしており、生まれたころから歌と音楽に囲まれて育った豊田さん。

もともとピアノやチェロに取り組んでいましたが、フルートを始めてからはさらにメキメキと頭角を現し、中学1年生で全国大会に出場、2年生にして、日本ジュニア管打楽器コンクール（フルート・ソロ部）で第1位となります。3年生となった今年は、先日開催された第2回東京国際フルートオーディションの中学生の部門で世界3位に輝きました。

## フルートは歌

フルートは歌のように自分の伝えたいことを明確に表現できる楽器。オーケストラの中でもフルートの音色一つでその印象はガラッと変わるそうです。豊田さんは、自分が生まれ育った自然豊かな環境が自分の音色にもいい影響を与えているといいます。自分の世界観を持って表現できることが自分の強みで、長時間聴いていても心地よい演奏、短い時間でも聴く人を圧倒する演奏の両方を目指して日々、練習を積んでいるそうです。

## 世界の一流のフルート奏者、そして、オーケストラの奏者になりたい

そんな豊田さんに将来の夢を聞くとすぐに明確な答えが返ってきました。ソロで活躍できるような実力を身に付け、オーケストラの奏者になりたいとのこと。オーケストラの奏者はいかに実力があっても、大変狭き門であることから、運も必要と語ります。

## 今の目標は、日本一と目標校の合格！

取材日直前に行われた全日本学生音楽コンクールの北海道大会を1位で通過し、全国への切符を手に入れている豊田さん。もう一つ、日本クラシック音楽コンクールの全国大会も控え、2つの大会での日本一を目指しています。同時に受験生の豊田さん。難関音楽高校の合格を目指し、猛勉強中です。

## 両親から

サッカー少年だった翼がまさかフルートを奏できるようになるとは思っていませんでした。

楽器を通じてこれらからも豊かな人間関係が広がっていくことと思います。そんな翼がうらやましくもありますし、そうした出会いを大切にしたい。親として心から応援していきたいと思えます。

撮影時のみマスクを外していただきました。